

みんなが幸せな学校に  
～誰一人取り残さない、安心安全で、楽しい学校～

校長 鎌田 明美

新庄小学校の教育目標は、「自ら学ぶ意欲を持ち、心身ともに豊かでたくましく生きぬく子どもを育てる」です。そして、目指す子ども像は「深く考える子ども」「思いやりのある子ども」「がんばりのきく子ども」です。

そして、2023年度は、「みんなが幸せな学校にしよう」という意識を高めて教育活動に取り組んでいきたいと考えました。「みんな」とは、誰一人取り残さないという信念のもとすべての子どもたちのことをあらわしています。さらに、子どもたちだけでなく教職員や保護者、地域の方々も含んでいます。「幸せな学校」とは、子どもたちが毎日行きたいと思える学校、先生たちが毎日働きたいと思える学校、子どもたちや先生たちや保護者や地域のみなさんが安心安全に過ごすことのできる学校のことです。さらに、学校での学びが、子どもたちの未来を幸せな未来にするための学びになるようにすすめていきたいと思えます。

幸せな学校にするために、三つの重点課題を掲げました。

**学びに向かう力を育て、確かな学力の向上をめざそう**

子どもたちが学びに没頭できるような授業を工夫し、自ら考え、友だちと意見交流を行うなかで学びを深めていくことができるようにします。タブレットや電子黒板の活用において、個別の学びと協働的な学びを有効にすすめていきます。学びたい、知りたい、やってみようという、前向きな気持ちをどんどん引き出してあげたいです。学校生活のすきま時間（雨の日の休み時間・給食後の待ち時間など）には、読書を推進し、本に親しみ読書を楽しむことができるように声をかけていきます。

家庭学習の効果も大きいと考えています。家庭学習の進め方や課題を子どもたちに示していきます。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

☺やってみよう！

☺きょうまくいく！

**自己肯定感や自己有用感を高め、みんなが楽しいと思える学校にしよう**

子どもたち一人一人の違いを受けとめ、互いの思いを知り、一人一人のよさを生かす場面をつくり、認め合い支え合いつながりを大切にしようことができるようにします。誰一人取り残さないという信念のもと、子どもたちが抱える困り感や課題に、しっかりと向き合っていきたいです。そして、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めるために、ポジティブな行動支援を行い、レジリエンスを高める活動を取り入れていきたいと思えます。さらに、多様な体験の場や、一人一人の可能性を引き出す場を広げるために、異学年交流や地域の方々との交流や外部人材の活用による教育活動を充実させたいと思えます。

☺ありのままに！

☺なんとかなる！

**健康で元気な生活をし、安心で安全な学校にしよう**

3つの「あ」（あいさつ・あるく・あとかたづけ）の生活目標を子どもたちが主体的に実行するために、感謝の気持ちや思いやりの気持ちを高める実践を重ねていきます。そして、健康や体力作りに自ら関心を持つことができるように、体育や保健学習、食育の時間の指導を工夫するとともに、学校の取組をご家庭とも連携してすすめていくことができるようにしていきたいです。また、登下校時や災害時等において、自分たちのいのちを自分たちで守る意識を高めたいと思えます。保護者や地域の方々のご協力も得ながら、安心で安全な幸せな学校をみんなで作っていったらと強く願います。

☺ありがとう！

☺だいじょうぶ！